

2022.4.16 (Sat) - 7.3 (Sun)
9:00 - 17:00



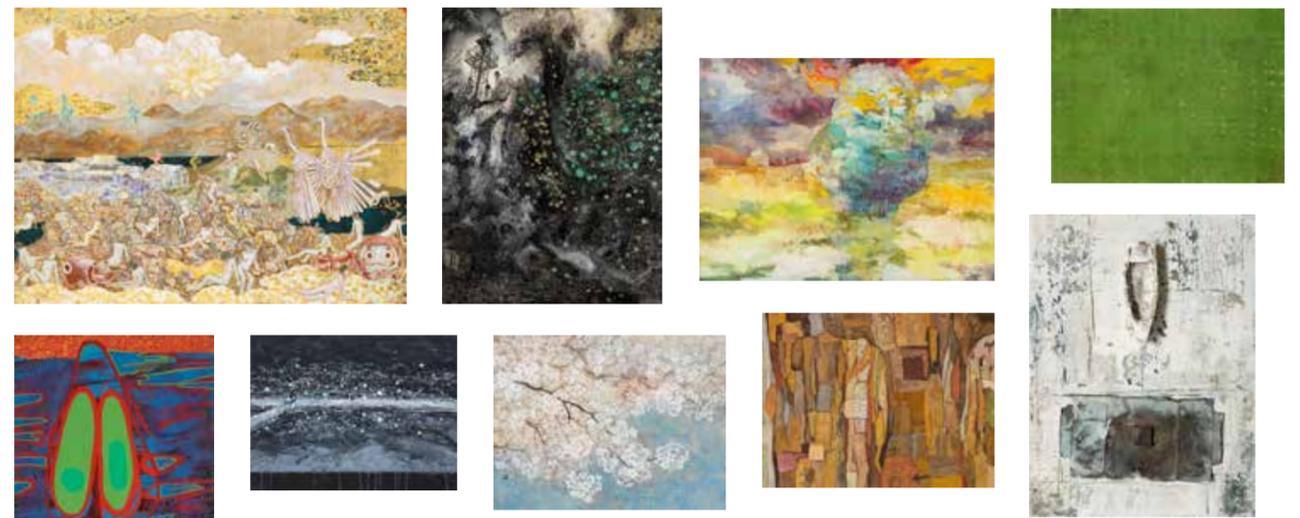
——千景万色——

東北画は可能か？



photo: Kohei Shikama

「東北画は可能か？」
二〇〇九年に東北芸術
洋画ヨリス教員・鴻巣
三男の東日本大震災の
作品と言える。この
か？展を開催する
連作絵画「原爆の図」
「原爆の図」の共同創
一方で、各地の民話に
東北地方にはたびた
た。土地に根づいた
激動の時代を生き抜
テリマであった。そ
と悲しみも、またひ
三十二世紀の東北に
「原爆の図」のある
亡き画家夫妻にとっ
想像する。そして現
新たな問いが立ち上



「東北画は可能か？」という深い問いを発するプロジェクトは、二〇〇九年に東北芸術工科大学の日本画コース教員・三瀬夏之介と洋画コース教員・鴻崎正武によって立ち上げられた。二〇一二年三月の東日本大震災に深くかかわる《方舟計画》は、その象徴的な作品と言える。このたび、原爆の図丸木美術館で「東北画は可能か？」展を開催するのも、二十一世紀の戦争の惨禍を象徴する連作絵画「原爆の図」を常設していることと無関係ではない。

「原爆の図」の共同制作者として知られる丸木位里と丸木俊は、一方で、各地の民話に関心を寄せて数多くの絵本を描き、とりわけ東北地方にはたびたび足を運んで、たくさん風景画も描き残した。土地に根づいた人間のしたたかさと暮らしと物語は、激動の時代を生き抜いたふたりの画家にとって、生涯の重要なテーマであった。その暮らしを奪われ断ち切られる不条理な痛みと悲しみも、またひとつの民話であったのだろう。

二十一世紀の東北に根ざした画家と学生たちの紡ぎ出す民話が、「原爆の図」のある美術館と接続する。この刺激的な試みは、亡き画家夫妻にとって、よろこばしい未来だったのではないかと想像する。そして現代を生きる私たちにとっても、それぞれの新たな問いが立ち上がる機会となることを願っている。



○ 関連イベント

四月十六日(土) 13時〜14時30分

オープニングトーク

「東北画とは何か？」

岡村幸宣(丸木美術館学芸員) × 三瀬夏之介(東北芸術工科大学) × 鴻崎正武(女子美術大学)

四月十七日(日) 13時〜14時30分

南島興(横浜美術館学芸員)

六月十九日(日) 13時〜14時30分

石倉敏明(芸術人類学、神話学) × 小金沢智(東北芸術工科大学、キュレーター) × 三瀬夏之介

七月二日(土) 13時〜14時30分

樫木野衣(美術批評)

七月三日(日) 13時〜14時30分

「東北画とは何だったのか？」

三瀬夏之介 × 鴻崎正武

関連展覧会

「後発的当事者」

@原爆の図丸木美術館二階アトススペース
会期：四月十六日(土)〜六月十一日(土)

「後発的当事者」は、実際にその事柄の関係者でないにも関わらず、その一端を担おうとする態度を指す造語です。本展では、東北画の活動の中で多くの人々や土地に触れ、描くことを足がかりに、東北という土地のもつ山岳信仰や震災の記憶に向き合い続ける渡辺綾、石原葉、富永和輝の作品を展示します。

『東北画は可能か？』
二〇〇九年から現在までの活動と作品をまとめた書籍を二〇二二年六月、美術出版社より刊行予定。

五八〇〇円＋税 一四四頁(予価、頁数予定)

公益財団法人 原爆の図 丸木美術館

開館時間 | 9:00-17:00

休館日 | 月曜日(月曜日の場合は翌平日) (4/26-5/8は無休)

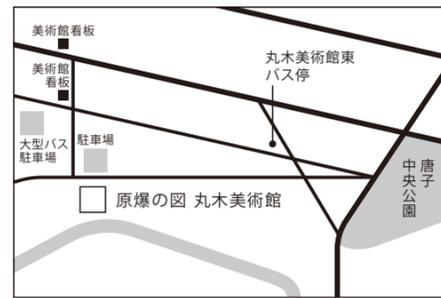
入館料 | 大人900円、中高生または18歳未満600円、小学生400円

団体(20名以上)、60歳以上、チラシ持参者、比企地区在住者100円割引
障害(しょうがい)のある方は半額

アクセス

東武東上線森林公園駅：南口よりタクシー10分 / 東武東上線つきのわ駅：南口から徒歩27分 / 東武東上線東松山駅より市内循環：バス唐子コース(日祝運休)約15分「丸木美術館東」下車徒歩15分 [バス時刻表] 8:45, 10:10, 11:10, 12:10, 14:30, 15:35 / 関越自動車道：東松山インターより小川方面10分

詳細は丸木美術館にお問い合わせ下さい このチラシを持参の方は入館料が100円割引になります



〒355-0076 埼玉県東松山市下唐子 1401
TEL: 0493-22-3266 FAX: 0493-24-8371

